学校通信

西小だより

桐生市立西小学校
令和７年度
NO. 3
令和７年５月22日

交通安全教室を開催しました

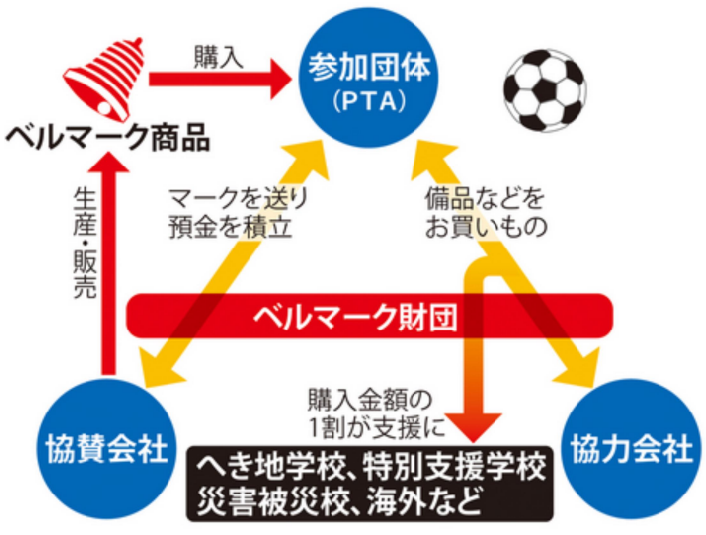
５月16日（金）交通安全教室を行いました。この日は、桐生警察署員の方や交通指導員さん、交通ヘルパーさんなど、多くの方にご協力をいただき、６年生が実際に自転車を使って、自転車の交通ルールを確認しました。3～5年生は交通安全動画の視聴し、交通ルールの確認をしました。1･2年生は後日、学校の西側道路を使って安全を確保しつつ、歩道を歩いたり、信号を渡ったりして、交通安全に対する意識を高め、注意すべきことの確認を行いました。

毎年４・５月は、子どもたちの環境が大きく変わる時期で、登下校時の交通事故には特に注意が必要になります。ある統計調査によると小中高校生の交通事故のおよそ９割が自転車によるもので、特に中学１年生による事故が多いようです。小学生は、中・高生より、交通事故件数は少ないものの飛び出しやわき見運転の自転車や自動車との接触などが心配されます。GW期間中も小学生が巻き込まれる悲しい事故が連日のように大きく報道されていました。学校でも、今後も引き続き子どもたちへの交通安全指導や注意喚起を行いますが、登下校に限らず、危険を感じる場面を見かけましたら、声をかけていただくなど、多くの皆様に子どもたちの安全をこれからも見守っていただければ幸いです。

【交通ペルパーの方の説明を聞く６年生】

ベルマーク運動にご協力をお願いします

今年も西小学校では、「ベルマーク運動」に力を入れて取り組みたいと思います。ベルマークは、**西小**の他、昨年から**西公民館**でも随時お預かりしてもらっています。ご協力お願いします。



【ベルマーク財団Webページより】

ベルマーク運動には、２つの機能があります。自分たちの学校のためにマークを集めることが自動的に、厳しい教育環境にあるお友達の役にも立つ仕組みです。「協賛会社」が商品に付けているマークを集め、整理計算して財団に送ると１点が１円に換算されてベルマーク預金になります。 その預金で、自分たちの学校に必要な設備・教材が「協力会社」から購入できます。さらに、その購入金額の 10 %が自動的にベルマーク財団に寄付され、へき地の学校や特別支援学校、災害で被災した学校への支援、アジアの子どもたちを助けるNPO への支援など、さまざまな教育援助活動に使われるというしくみです。

＜お知らせ＞

右のＱＲコードから西小の Web ページをご覧いただくと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。ペーパーレスの推進のため、今後の保護者の皆様への「学校だより」の配信は、「すぐーる」で行います。紙での配布は、今回が最後になりますのでご了承ください。なお、西公民館からの回覧は、当面、継続する予定です。

西小ホームページ

西小の取組紹介②

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

１年生が校長室へ学校探検にやってきました！

「学校探検」は、毎年入学して間もないこの時期に、何を見ても、触っても興味津々の１年生が、学校の中の様々な教室や部屋を訪れ、そこにいる人に質問したり、ものに触ったりして感じたことや分かったことを後日まとめる生活科の授業です。私は、事前に担任の先生から、「学校探検」のことを聞いていましたが、少し油断をしていたところ、元気な１年生が「失礼します！」とやって来ました。はじめは、少し恥ずかしそうで、おとなしい印象もあった１年生でしたが、すぐに校長室の捜索が始まりました。「これなぁに？」「これは？」「見て見ておもしろい！」「ねぇ金庫があるよ！」「カメラがあるよ！写真撮ろう！」･･･若干、収集がつかなくなりましたが、私たち大人が失いつつあるかもしれない好奇心と圧倒的な行動力に感心させられました。私たちに求められるのは、子どもたちが本来生まれながらにもっているであろう知的好奇心（学びのモチベーション）をいかに伸ばしていけるか？なのかもしれません。

【学校探検：校長室での様子】

”ひとくらし”のいちにち（旧桐生糸ヤ通りいらっしゃいませ）に行ってきました！

【大勢の人たちで賑わった”ひとくらし”のいちにち】

５月３日（土）糸ヤ通りを中心に行われた「"ひとくらし"のいちにち」を散策してきました。この日は天候にも恵まれて大勢の来場者で大盛況でした。西小の子どもたちも買い物や各種イベント、おしごとマーケットでのワークショップやおしごと体験を楽しんでいる姿も目にすることができました。学校外でも子どもたちが、生き生きと活動する姿が見られたことは、大変素晴らしいことだと思っています。子どもたちが地域に出て、多くの人とふれあい、活動することで教室や授業だけでは学べないことがたくさん育まれることでしょう。やがては、この地で育った子どもたちが、「新たな地域の担い手になってくれたらすばらしい！」そんなことを考えながら楽しく散策することができました。

なお、当日は、本校のＰＴＡ地域ふれあい部の方々にも大変お世話になりました。
ありがとうございました。

校長室から

「群馬県がめざす教育ビジョン」をまとめてみました！

昨年度から動き出した群馬県の教育方針であります第４期教育振興基本計画（教育ビジョン）が今年度５ヶ年計画の２年目を迎えました。キーワードは、誰もが生まれながらにもっている『自分も相手もみんなを幸せにする力(Well-Being)』の育成です。私たちは、子どもたちを信じ、子どもたちが『自分で考えて、自分で決めて、自分から動き出す！』ことができる『自立した学習者(※)』となることをめざしています。(※学習者⇒児童・生徒だけでなく、私たち大人を含めたすべての人)

背景には、ＡＩの進化、人口減少、価値の多様化、国際化など急激で予測困難な社会の変化があり、今までの私たちの常識だけでは、通用しない課題の出現や正解のない問題が生じていることがあげられます。これからの社会を担う子どもたちが、そうした課題を乗り越え、『たくましく生きていく』ため、教育には基礎的な知識を備えた上で、より「柔軟で豊かな発想の育成」が求められています。

以下に、私たち大人が、子どもたちと接する際に意識するポイントをまとめました。

〇様々な課題に対応できるため、基礎的な知識の定着を図る
〇すべてを「与える・教える」のではなく、子どもがもっている力を「信じ、待ち、任せる」
〇単に「失敗を叱る」のではなく「挑戦したことを認め」、共に結果を分析、考察し次に活かす
〇まずは大人が、子どもたちの鑑（手本）となる行動をする
〇すべての人が「誰かに任せる」から「当事者意識」へ

子どもたちは、地域の宝であり、未来への希望です。「子育ては家庭」「勉強は学校」といった考え方から、より多くの方が主体的に関わることで、子どもたちの社会性や豊かな感性が育つと思います。